

病院 BCP：業務継続計画
災害拠点病院用

Ver 1.0

病院ロゴマークなど

作成：2017 年 3 月

〇〇〇〇医療センター

「病院 BCP（災害拠点病院用）」について

作成の手引きに示した内容をさらに具体的にするため、仮想災害拠点病院における病院 BCP を例示する。各々の施設の実情に合わせて取捨選択、加筆・変更・削除すれば体裁が整うことをイメージして、作成したものである。（）内や注、斜字体の部分は本体部分ではなく、計画の作成の選択肢やコツ、解釈について記したものである。様々な想定のもとで作成したため、部分的に、あるいは全体を通したときに整合性のとれていない部分もあるが、あくまでも「たたき台」としてのサンプルであることを念頭に置いて、自施設独自の病院 BCP を作成いただきたい。

目次

第1章 災害対応の基本方針（災害拠点病院用） 1

- ◆ はじめに
- ◆ 立地条件、ハザードマップ、歴史的に経験した災害等の評価
- ◆ 災害対応計画の適応範囲と活動方針
- ◆ 地域における位置づけ
- ◆ 平常時の災害準備体制（災害対策委員会、危機管理委員会）
- ◆ 災害対策本部設置基準
- ◆ 災害対策本部の組織体制と機能
- ◆ 災害レベル別対応の基本
- ◆ 職員の参集と安否確認
- ◆ 医療班（DMAT など）の派遣・受援体制

第2章 事前準備（平常時対応）

- システムに関すること 12
 - ◆ 災害対策委員会（危機管理委員会）
 - ◆ 関連機関との協力・連携・協定等
- 職員関連 13
 - ◆ 訓練・教育・研修
- 物関連 14
 - ◆ 安全・減災対策
 - ◆ インフラ整備
 - ◆ インフラ設備状況
 - ◆ 情報関係（診療情報、通信手段）
 - ◆ 医療安全（院内危険物、感染予防・衛生環境保全など）
 - ◆ 災害時対応必要物品の準備・保管・チェック
 - ◆ 物品管理
 - ◆ 各種点検（チェック）

第3章 災害急性期対応

- 発災直後から災害対応レベルの決定まで 22
 - ◆ 発災から発災直後
 - ◆ 災害対策本部の設置

◆被害状況の把握（院内外）と院内対応レベルの決定・宣言	
◆外部への被災状況、病院の患者受入れ情報の発信	
●急性期被災患者対応（レベル3対応）	23
◆急性期多数傷病者受入れ対応の原則	
◆外来診療体制	
◆入院診療体制	
◆手術体制	
◆夜間・休日対応	
◆災害時に対応する部門・責任者・連絡先・主な活動内容（レベル3）	
◆職員登録と職員配置（白板運用）	
◆トリアージ、受付、緊急度別対応（患者流れ図）	
●諸運用	29
◆トリアージタグ（院内用）	
◆災害時カルテ	
◆情報伝達（トランシーバーなど）	
◆災害時各種標識類	
◆災害時各種帳票類	
◆血液検査	
◆輸血オーダー	
◆放射線検査	
◆増床体制	
◆エレベータ運用	

第4章 部門別対応（急性期）の概要

●新設部門（19 部門）	34
●既設部門（19 部門）	58

第5章 亜急性期・慢性期対応 70

- ◆医療支援者対応（日本 DMAT 等）
- ◆支援者対応（ボランティア）
- ◆物流対応
- ◆臨時勤務態勢の確立
- ◆災害時要援護者への対応
- ◆心的サポート

- ◆遺族対応
- ◆ご遺体対応
- ◆医療以外の支援体制
- ◆トイレ・衛生環境の整備
- ◆災害モードの収束・終了

第6章 震災に備えたBCPチェック項目 77

第7章 帳票・リスト・資料など

●報告書	79
◆被災状況報告書（全部署共通◆本部報告第1報用）	
◆被災状況報告書（全部署共通・本部報告続報用）	
◆（被災状況報告書（特殊部門））	
◆災害時点検箇所一覧（建物被害チェック用）（専門性が高く、ここでは省略しているが、非常に重要であるので各施設で各自作成が必要！）	
◆被災患者登録名簿（全部門共通・本部報告用）	
◆災害時従事者登録名簿（全部門共通・本部報告用）	
●帳票類	83
◆院内用トリアージタグ	
◆災害カルテ	
◆災害時標準診療録（参考資料）	
◆災害時照射録	
◆災害時処方箋	
●一覧表	87
◆災害時約束処方一覧	
◆災害用医薬品一覧	
◆防災倉庫備蓄一覧（省略）	
◆院内放送文言集（状況別）（省略）	
●点検表・チェックリスト	91
◆防災措置点検表（平常時・部門別）	
◆災害対策点検項目（平常時・部門別）	
●特殊運用	97
◆緊急地震速報対応マニュアル	
◆ヘリポート運用マニュアル（省略）	
◆非常食階上運搬方法（ユニット・リレー方式）（省略）	
●その他の資料（参考となる資料、部門別マニュアルなど）	98

- ◆災害用語集（省略）
- ◆施設周辺地図（広域避難所）（省略）
- ◆〇〇地震による被害（予想）のまとめ（省略）

第8章 病院 BCP 改善のためのチェックリスト関連 100

- ◆ 平成 25 年 9 月 4 日厚生労働省指導課長通知「病院における BCP の考え方に基づいた災害対策マニュアルについて」（医政指発 0904 第 2 号） 101
- ◆ 「災害拠点病院充実度評価票」 126
- ◆ 「病院立地とハザードマップ、地域防災計画等の関連についての評価のためのチェックリスト」 138

付録

- ◆レベル3 C マニュアル（病院避難・災害退院・間口診療） 140

【はじめに】

阪神淡路大震災後、「災害対応マニュアル」の必要性が高まり、「災害対応マニュアル」を整備してきたが、その後の東日本大震災によって、災害急性期に特化しただけでは、不十分であり、BCP（事業継続計画）に基づいたものに書き換えることが求められてきた。そこで今回、既存の「災害対応マニュアル」に不足部分を補い、新しい総合的な計画として作成した。BCP の考え方には計画そのものを繰り返しチェックして改善してゆくことも含まれ、進化する計画として管理体制を整えて改訂してゆく必要がある。今回呈示する病院 BCP は、国立病院機構災害医療センターで開発され、災害従事者研修会等で普及された「災害対応マニュアル」と互換性がある。従って、各病院で整備された「災害対応マニュアル」と見比べ、不足する部分を補えば「病院 BCP」として活用できるとの考え方に基づいている。

【立地条件、ハザードマップ、歴史的に経験した災害等の評価】

病院の立地条件、ハザードマップ、歴史的に経験した災害等を勘案して、想定される災害とその可能性（頻度、重要度）について明記する。当然ではあるが、たとえ想定される可能性・頻度は少なくとも、患者・職員の生命や病院の事業継続に支障を及ぼす可能性のある災害は考慮する。場合によっては、想定される災害毎の BCP の整備が必要となる。

1) 病院立地とハザードマップ、地域防災計画等の関連についての評価

以下についてハザードマップや地域防災計画等をもとに被害想定区域に該当するかについて評価する。

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| ①洪水、内水 | ☐ 該当有り |
| ②土砂災害 | ☐ 該当有り |
| ③地震 | ☐ 該当有り |
| ④液状化 | ☐ 該当有り |
| ⑤津波、高潮 | ☐ 該当有り |
| ⑥火災延焼 | ☐ 該当有り |
| (震災後等) | |
| ⑦火山 | ☐ 該当有り |
| ⑧冠水等による救急車等の車両・徒歩患者・職員等アクセスの障害 | ☐ |
| 該当有り | |

詳細については、チェックリストを用いて評価する。(⇒第6章、巻末資料参照)

- 2) 病院が立地する地域で過去100年間に発生した災害についてリストを作ってみましょう。

地域の新聞、書籍、図書館資料、郷土史、古くから居住している住民からの情報収集等により過去100年間に、病院が立地する地域で発生した災害についてリストを作る。